

令和 4 年度

事業報告書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

社会福祉法人 南部町社会福祉協議会

1. 法人運営事業

(1) 法人運営会議の開催

南部町社会福祉協議会の法人経営体制の強化のため、会議を開催した。

会議名	開催回数	開催日
理事会	2回	〈第1回〉令和4年5月27日（金）
		〈第2回〉令和5年3月20日（月）
評議員会	2回	〈第1回〉令和4年6月13日（月）
		〈第2回〉令和5年3月28日（火）

(2) 会長・副会長会議の開催

南部町社会福祉協議会理事会、評議員会に提案する重要事項を審議した。

会議名	開催回数	開催日
会長・副会長会議	3回	〈第1回〉令和4年5月17日（火）
		〈第2回〉令和4年8月22日（月）
		〈第3回〉令和5年3月14日（火）

(3) 監査会の開催

理事の業務執行状況及び法人財産状況についての監査を実施した。

監査名	開催回数	開催日
中間監査会	1回	令和4年11月15日（火）
決算監査会	1回	令和5年5月15日（月）

(4) 委員会の開催

専門的事項について意見を求めるため委員会を開催した。

委員会名	開催回数	開催日
南部町共同募金運営委員会	2回	(第1回)令和4年5月27日（金）
		(第2回)令和5年3月20日（月）
屋内ゲートボール場運営委員会	1回	令和4年5月（書面会議）

(5) 役員・評議員の研修会の実施

各種研修会は新型コロナウイルス感染症防止対策により、縮小及び中止となった。

- ① 縣市町村社協連絡会総会（青森市）令和4年6月24日（金）【欠席】
- ② 第71回三戸郡社会福祉大会（南部町）令和4年7月15日（金）【中止】
- ③ 三戸郡社協役員・評議員研修会（新郷村）令和4年10月14日（金）【中止】
- ④ 第71回青森県社会福祉大会（青森市）令和4年11月2日（水）【3名参加】

(6) 会費・会員の増強と財政基盤の強化

南部町行政員・町内会長の協力により、社会福祉協議会会費の集金に努めた。

年 度	住民会費	賛助会費	加入率	特別会費	合計額
平成30年度	5,020,000円	94,000円	68.0%	450,000円	5,564,000円
令和元年度	4,952,700円	92,000円	66.0%	385,000円	5,429,700円
令和2年度	4,928,000円	78,000円	66.6%	405,000円	5,411,000円
令和3年度	4,910,100円	70,000円	66.2%	400,000円	5,380,100円
令和4年度	4,809,400円	70,000円	64.9%	375,000円	5,254,400円

(※加入率=会費納入者世帯数÷令和4年9月1日現在の南部町世帯数 4,850/7,478)

(7) 職員間の連携と組織の効率化

①月例会議（年12回開催）

幹部職員による会議を毎月定期的で開催し、事業所間の連携強化と職員協力体制の構築に努めた。

②経営改善検討会（年2回開催）

各介護保険事業所の主任が中心となり、経営改善につなげるために現状や課題を出し合い、現状の課題に対しての業務改善についての検討を行った。

(8) 職員の自己研鑽と資質向上のための研修会開催

感染防止対策により、オンライン方式により研修を受講し資質向上に努めた。

- ①県主催研修・「処遇改善加算取得セミナー」〈4名〉
- ②県社協研修・「生活支援コーディネーター養成研修」〈6名〉 他. 16講座〈延べ35名受講〉
- ③郡社協研修・「災害広域連携活動研修」〈4名〉 他. 1講座〈延べ6名受講〉
- ④南部町研修・「介護予防ボランティア養成講座」〈1名〉他. 7講座〈延べ16名受講〉
- ⑤居宅支援研修・「介護支援専門員更新研修」〈5名〉 他. 30講座〈延べ69名受講〉

(9) 屋内ゲートボール場「すぱーく名川」の運営事業の実施

生涯スポーツの振興や高齢者の生きがいとコミュニティづくりのため、安全かつ安心して利用することができるように施設の維持管理を実施した。

	平成30年度		令和元年度		平成2年度		令和3年度		令和4年度	
	利用	時間	利用	時間	利用	時間	利用	時間	利用	時間
	人員		人員		人員		人員		人員	
ゲートボール	709	238	444	213	191	69	551	207	873	289
グラウンドゴルフ	960	64	942	63	0	0	455	26	1,001	73
ペタ ン ク	529	79	586	89	256	57	749	109	755	202
サッカー・フットサル	1,007	106	893	81	794	98	2,471	384	2,662	231
そ の 他	2,010	82	733	37	205	19	467	35	917	176
減免対象者	3,903	318	2,694	319	630	75	3,014	445	3,647	439
合 計	9,118	887	6,292	802	2,076	243	7,707	1,206	9,855	1,410
比較増減	△84	△21	△2,826	△85	△4,846	△559	5,631	963	2,148	204

(10) 指定管理事業

① 南部町名川老人福祉センター管理運営事業の実施

南部町名川老人福祉センターの運営管理業務の実施にあたり、「南部町老人福祉センター条例」並びに「条例施行規則」を遵守し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、町民が安全かつ安心して利用が出来るよう、防犯・防災体制の万全を図り管理運営業務を実施した。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
稼働日数	310日	312日	311日	<u>*230日</u>	313日
利用者数	4,848名	4,159名	3,652名	3,519名	4,559名

*水道配管工事のため(令3.7.21~令3.10.11まで約3ヵ月間風呂休業)

② 南部町デイサービスセンター管理運営事業の実施

指定管理事業の実施にあたり、「条例」を遵守し、利用者が安全かつ安心して利用が出来るよう、防犯・防災体制の万全を図り管理運営業務を実施した。

(デイサービスセンターひろば)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
稼働日数	310日	312日	311日	303日	313日
利用者数	8,481名	8,465名	7,520名	7,205名	6,464名

(デイサービスセンターあじさい)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
稼働日数	363日	364日	363日	363日	363日
利用者数	6,568名	7,006名	7,459名	6,820名	7,048名

2. 地域福祉事業

(1) 日常生活自立支援事業の実施

高齢者や障がいがある方で判断能力の低下や、日常の金銭管理ができない方を対象に、福祉サービスの手続き代行や金銭管理などの支援を行い、利用者の在宅生活の援助に努めた。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
契約利用者数	12名	13名	10名	13名	12名
生活支援員数	6名	6名	6名	6名	5名
延べ支援回数	144回	172回	162回	159回	156回

(2) ボランティア活動の振興

① ボランティアセンター設置事業の実施

ボランティア登録団体や個人に対して情報提供や連絡調整を行い、ボランティア活動を必要とする方とのパイプ役としての中間支援に努めた。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
個人登録者	20名	21名	16名	14名	13名
登録団体数 (人数)	8団体 (271名)	9団体 (290名)	9団体 (183名)	9団体 (167名)	9団体 (174名)
ほのぼの協力員	360名	313名	298名	321名	305名
安心電話協力員	137名	118名	85名	96名	104名
除雪ボランティア	352名	146名	182名	128名	130名
福祉教育サポーター	22名	22名	19名	15名	12名

② 南部町ボランティアまつりの開催

「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大により中止とした。

③ ボランティア活動促進事業の実施

登録するボランティア会員に対し、ボランティア活動保険料を助成した。また、登録団体に対し財団等で行う各種活動助成金の情報提供を行うとともに、オンライン方式による研修の場を提供した。

(3) 心配ごと相談所開設事業の実施

日常生活上のあらゆる悩みや心配ごとについて、毎週月曜日から金曜日、午前8時15分から午後5時まで、社会福祉協議会職員が相談に応じて、町民の心配ごとや悩みごとの解消に努めた。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談所開設日数	247日	243日	246日	246日	246日
相談件数	17件	22件	27件	44件	29件

(4) 緊急食糧提供事業の実施

緊急時対応のため食糧を準備して、生活困窮者6世帯の7名に107日分の食糧を緊急的に提供した。

(5) 情報誌発行事業の実施

社会福祉協議会の情報誌を発行して、ボランティア活動や地域の福祉行事や活動を紹介し、町民の社会福祉事業の啓発に努めた。

情報紙発行名	発行回数	配布世帯等
社協情報紙「ふくしのはあと」	年6回	南部町内毎戸配布、関係機関団体

(6) 福祉フェスティバル事業の実施

第 17 回南部町社会福祉大会開催（コロナ感染拡大防止のため規模縮小で実施）

- ・開催日 令和 4 年 1 0 月 2 7 日（木） ・開催場所『南部町いちょうホール』
- ・内 容 福祉関係者功労者表彰（ 1 4 個人・ 7 団体 ）

(7) たすけあい資金貸付事業の実施

低所得世帯の自立と生活意欲の助長促進を図るため、資金貸付の相談と償還指導を行った。

	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
貸付件数	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件
貸付金額	50,000 円	0 件	50,000 円	0 円	0 円
償還金額	15,000 円	28,000 円	62,000 円	29,000 円	10,000 円

(8) NHK地域歳末たすけあい配分事業

・各種団体の年末年始事業への配分

地域歳末たすけあい配分事業として、町内の障がい者福祉団体からの申請により、年末・年始における交流事業に対して活動資金の配分事業を行った。

（配分団体数 2 団体、配分金額 40,500 円）

(9) 福祉団体等の指導育成事業の実施

福祉団体の事務局を担当して、関係機関・団体との連携を図りながら、自主・自立活動の支援と運営の強化に努めた。

- ① 南部町民生委員児童委員協議会（名川地区・南部地区・福地地区）
- ② 南部町老人クラブ連合会
- ③ 南部町身体障害者福祉会
- ④ 南部町遺族会

(10) 無料法律相談事業の実施

弁護士による無料法律相談所を開設して、町民の法的トラブルや悩みごとの解消に努めた。（4 回開設、相談件数 1 8 件）

- ・ 1 回目 令和 4 年 6 月 2 1 日（火） 13:30～15:30 〈ぼたんの里〉 相談 4 件
- ・ 2 回目 令和 4 年 8 月 2 3 日（火） 13:30～16:00 〈健康センター〉 相談 5 件
- ・ 3 回目 令和 4 年 1 2 月 1 4 日（火） 13:30～16:30 〈ゆとりあ〉 相談 6 件
- ・ 4 回目 令和 5 年 2 月 2 1 日（火） 13:30～15:30 〈健康センター〉 相談 3 件

(11) 生活福祉資金貸付事業の実施

青森県社会福祉協議会が実施している資金貸付の窓口として、低所得世帯・高齢者世帯・障がいを持つ方々の世帯を対象に生活相談と償還指導を行い、その世帯の自立支援に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少等により生活資金が必要な方へ特例貸付による相談支援を実施した。

	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
今年度貸付件数	1 件	0 件	6 件	5 件	1 件
貸付金額	247,000 円	0 円	1,100,000 円	900,000 円	96,000 円

（福祉費 1 件）

(12) レクリエーション機器貸出事業

団体や施設、町内会、学校、幼稚園等のレクリエーション等に使用する各種器具や機器を無料で貸出し、各種団体活動や町内の地域交流会の支援に努めた。

- ・綿菓子機(1回)
- ・レクリエーションゲーム用品(12回)
- ・ミシン(1回)

(13) 旧名川ドライフラワーセンター管理運営事業

南部町内の町民及び団体等の生きがいくりと活動支援のため、活動場所としての貸出や介護予防の一環として「お達者サロン」の開設を行った。また、福祉団体やサークルなどの利用も徐々に定着し、幅広く利用された。

- ・貸出件数(20件)、利用人数(150名)、団体数(8団体)

3. 高齢者福祉事業

(1) 地域ふれあい交流会助成事業の実施

地域住民により編成されたグループ(町内会・ボランティアグループ等)が行う、地域の高齢者等を対象とした「地域ふれあい交流会」に助成金を交付して、高齢者の生きがいと社会参加を促進した。

ふれあい交流会は、コロナ禍により申請件数は8町内と少なかった。

(2) 福祉機器・介護用具貸付事業の実施

在宅の高齢者や障がいを持つ方々を対象に、ベッドや車いすを貸与して、要介護者とその家族の生活支援に努めた。(車いすは無料貸出、ベッド一式は消毒料が有料)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ベッド貸出台数	7台	9台	8台	6台	7台
車いす貸出台数	29台	24台	8台	13台	17台

(3) 福祉機器整備事業の実施

車いすや特殊寝台の福祉機器を、町民に安全に利用していただくために、機器の修繕と保守管理を行った。

(4) 福祉コミュニティ活動推進事業の実施

① 要援護者世帯の除雪体制づくり

ひとり暮らし高齢者や高齢世帯、障害を持たれた方のいる世帯等を地域で見守る体制の構築のため、自力で除雪ができない世帯へ町内会で除雪ボランティア活動の体制づくりを行ない、ボランティア活動保険の加入や除雪対策会議に要する費用の助成、融雪剤、除雪用スコップ等を提供し地域コミュニティ活動の推進を図った。

- ◎ 除雪活動町内数 16町内会
- ◎ 除雪対策会議開催 13町内会
- ◎ 除雪資材配布 2町内会

② サロン活動の開設

旧名川ドライフラワーセンターにおいて『お達者サロン』を年6回開催し、高齢者の生きがいをづくりと介護予防・フレイル予防に努めた。

回数	開催期日	内 容	参加者数
1回目	令和4年6月10日(金)	「栄養講座」、「毛糸を使った手芸教室」	5名
2回目	令和4年7月22日(金)	「夏バテ予防講座」と「レクリエーション」	7名
3回目	令和4年8月19日(金)	「大学生とボッチャ競技での交流会」	12名
4回目	令和4年10月21日(金)	「貧血予防講座」と「軽体操」	5名
5回目	令和4年12月16日(金)	「口腔機能低下予防講座」と「作品づくり」	9名
6回目	令和5年2月24日(金)	「骨粗しょう症予防講座」と「軽体操」	3名

(5) ほのぼの交流協力員事業

①見守りネットワーク研修会の開催

本年度は「消費者トラブルを防ぐためには」と題して、行政員、町内会長、民生委員・児童委員、ほのぼの交流協力員が見守りに対する知識習得に加え、見守りの大切さを認識する研修会を実施した。(3地区で開催、計3回実施)

② ほのぼの交流協力員事業の実施

コロナ禍において地域住民が主体の「見守り」と「助け合い」の活動を実施し、地区のほのぼの交流協力員との情報提供を通して、地域の現状を把握することに努めた。

ほのぼの交流協力員配置数	見守り対象世帯数
305人〈前年度比18名減〉	371世帯〈前年度比62世帯減〉

(令和5年3月31日現在)

(6) 軽度生活援助事業の実施

在宅の一人暮らし高齢者等を対象に、訪問介護員が掃除、洗濯、調理、買物等の家事援助サービスを行い、自立した日常生活の継続と要介護状態への進行防止に努めた。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録者数	1名	1名	1名	1名	1名
延べ利用回数	50回	52回	52回	48回	49回

(7) 高齢者配食サービス事業及び「食」の自立支援事業の実施

調理が困難な高齢者及び障がいを持つ方々を対象に、365日体制により昼食と夕食を利用者宅に届け、栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認と健康状態の把握に努めた。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録者数	49名	50名	51名	55名	51名
延べ配食数	12,312食	12,470食	14,693食	14,370食	16,110食

(8) 緊急通報体制等整備事業の実施（福祉安心電話サービス事業）

ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯・障がいを持つ方々を対象に、福祉安心電話を設置して、緊急時の連絡体制づくりと、孤独感の解消に努めた。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入会済世帯数	74世帯	61世帯	49世帯	40世帯	31世帯
入会世帯数	1世帯	2世帯	5世帯	0世帯	2世帯
退会世帯数	14世帯	14世帯	14世帯	9世帯	8世帯
入会世帯合計	61世帯	49世帯	40世帯	31世帯	25世帯

(9) 在宅介護支援センター事業の実施

在宅の高齢者や要介護者、家族等の在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、地域を巡回しながら訪問指導活動を行った。

- ① 地域包括支援センターブランチ型総合相談窓口業務 相談件数718件
- ② 高齢者実態把握業務 365人
- ③ 介護予防出前講座 13地区 13日間 参加者延べ72名
(新型コロナウイルス感染防止対策のため 1地区中止)

(10) 外出支援サービス事業の実施

在宅の寝たきり高齢者等で、一般の公共交通機関を利用することが困難な方を対象に、移送用車両により医療機関の受診や入退院時の送迎サービスを提供して、利用者とその家族の身体的・精神的な負担軽減に努めた。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録者数	75名	72名	50名	35名	29名
延べ利用回数	636回	661回	554回	424回	256回

(11) 生活支援体制整備事業の実施

地域住民が主体となる助け合い・支え合いが活動できるよう、地域づくりを進め、地域のニーズと社会資源を結びつける支え合い活動の創出につなげる調整役を担い、地域づくりの支援に努めた。

また、第1層・第2層ともに今後の各地区での活動の為、情報共有や情報収集を図ることを目的に協議体や情報交換会を年8回開催した。

【事業啓発及び地域資源の把握】

地 区	町内訪問件数	従事した日数
第1層（南部町全域）	27件	224日
第2層（名川地区）	23件	223日
第2層（福地地区）	17件	223日

4. 児 童 福 祉 事 業

(1) 福祉の心を育む事業の実施

小・中校及び高等学校に出向いて、福祉講座や福祉体験学習を新型コロナウイルス感染症の対策をとりながら開催し、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を深め社会奉仕活動の高揚に努めた。

プログラム名	小学校	中学校	高等学校	合計
高齢者疑似体験	1回	1回	—	2回
車いす体験	—	1回	—	1回
手話体験	1回	1回	—	2回
心の健康教室	1回	—	—	1回
合 計	3回	3回	—	6回

(延べ参加者数 102名)

(2) 子育て支援事業の実施

① 口腔ケア教室

保健師、歯科衛生士による口腔ケア教室は、感染防止対策をとりながらこども園と社協をオンラインでつなぎ「口腔ケアオンライン教室」として2か所で実施した。

② 子育て応援育児用品貸出事業

子育て支援の一環で、乳幼児の保護者に育児用品を貸し出し、子育て中の保護者に係る経済的な負担軽減を図り、次世代を担う子ども達の健やかな成長を支援した。

貸出物品	貸出件数(延べ)	保有台数
チャイルドシート	46台	38台
ベビーカー	2台	4台
ベビーラック	0台	6台
ベビーチェア	1台	2台
バウンサー	0台	3台
ベビーベット	5台	4台
歩 行 器	0台	1台
ベビーバス	2台	1台
計	延べ56台	/

5. 障がい者福祉サービス事業

(1) 障がい者移動支援事業の実施

在宅の障がいをもつ方々が医療機関の入退院や通院するため、移送用車両により移送サービスを実施することにより、利用者とその家族の支援に努めた。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録者数	7名	9名	11名	6名	5名
延べ利用回数	321回	361回	278回	103回	72回

(2) 障がい者居宅介護事業の実施 (障がい者ヘルパー事業)

在宅の障がいを持つ方々が自立した生活を営むことが出来るよう、ヘルパーが身体介護・生活援助等、生活全般にわたるサービスを提供することにより、利用者の在宅生活における自立支援に努めた。

事業所名	南部社協ヘルパーセンター				
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	8名	9名	9名	8名	6名
延べ利用回数	1,705回	2,372回	2,112回	1,429回	1,248回

(3) 障がい者生活介護サービス事業の実施 (障がい者デイサービス事業)

在宅の障がいを持つ方々が自立した生活を営むことが出来るよう、デイサービスセンターひろばにおいて、入浴・トイレ介助・食事介助等の日中活動のサービスを提供することにより、在宅生活における自立の支援に努めた。

事業所名	デイサービスセンターひろば				
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	4名	4名	8名	8名	5名
延べ利用回数	280回	284回	527回	607回	325回

6. 介護サービス事業

(1) 訪問介護事業の実施 (ホームヘルプサービス事業)

在宅の高齢者が自立した生活を営むことが出来るよう、ヘルパーが身体介護・生活援助等生活全般にわたるサービスを、365日体制により提供した。

事業所名	南部社協ヘルパーセンター				
年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
延べ利用者数	763名	688名	614名	560名	471名

(2) 通所介護事業の実施 (デイサービス事業)

要支援・要介護状態の方を対象に、デイサービスセンターに送迎して、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを実施して、楽しく1日を過ごしてもらい、心身の向上に努めた。

事業所名	デイサービスセンターひろば				
年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
延べ利用者数	8,481名	8,465名	7,520名	7,205名	6,139名

事業所名	デイサービスセンターあじさい				
年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
延べ利用者数	6,568名	7,006名	7,459名	6,820名	7,048名

(3) 居宅介護支援事業の実施

- ① 要介護者・要支援者が介護保険サービスを利用するため相談や介護計画の作成と管理運営を行い、総合的かつ効果的に福祉サービスが利用出来るように支援した。

事業所名	南部社協ケアプランセンター				
年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
要介護利用者数	2,379名	2,348名	2,090名	1,847名	1,862名
認定調査数	155名	156名	45名	104名	133名
介護予防利用者数	221名	202名	236名	286名	296名
予防マネジメント数	277名	315名	222名	198名	209名

② 特定事業所加算事業

- ・24時間、365日の連絡体制により、利用者様等の相談対応体制を実施した。
- ・他法人との共同研修、事例検討会を年3回オンライン方式により実施した。

[第1回] 令和4年6月13日(月) 〈4法人事業所から9名参加〉

(テーマ)認知症の方が住みやすい住環境整備のポイント

[第2回] 令和4年10月12日(水) 〈4法人事業所から10名参加〉

(テーマ)ケアマネージャーに知ってほしい口腔アセスメントと歯科との連携

[第3回] 令和5年2月14日(火) 〈4法人事業所から9名参加〉

(テーマ)医療度が高い方や入退院を繰り返しているケース等の医療連携

(4) 介護実習生の受け入れ

福祉人材育成として、社会福祉を専攻している学生及び社会人等を対象に、介護体験及び社会福祉に関する資格取得のため、実習生の受け入れを行った。

訪問介護実習

受入事業所	実習延日数	実習生人数	実習延時間
南部社協ヘルパーセンター	2日間	1名	16時間
八戸学院大学短期大学部介護福祉学科の外国人留学生の介護実習の受け入れ			

通所介護実習

受入事業所	実習延日数	実習生人数	実習延時間
デイサービスセンターひろば	10日間	1名	64時間
八戸学院大学短期大学部介護福祉学科の外国人留学生の介護実習の受け入れ			

青森県介護支援専門員実務研修実習

受入事業所	実習延日数	実習生人数	実習延時間
南部社協ケアプランセンター	3日間	1名	24時間
公益社団法人青森県介護支援専門員協会からの実習の受け入れ			

(5) 災害非常時の体制強化

① 防災訓練の実施

令和4年10月16日(日)南部町防災訓練に役職員11名が参加し、「災害ボランティアセンター」開設訓練と「福祉避難所」を想定した訓練を実施した。

② 災害対策会議の開催

令和4年8月3日(水)南部町の「高齢者等避難情報発令」により、社協災害対策会議を開催、災害対応マニュアルを基に災害に備えた体制づくりを実施した。

③ 新型コロナウイルス感染症対策会議の開催

令和4年度において三八圏域の感染症感染拡大により、「社協新型コロナウイルス感染症対策会議」を年間46回開催し、職員と各種サービス事業における感染防止対策の徹底を図り、危機管理に努めた。

また、職員に不要不急の外出や移動等自粛の協力を呼びかけ、職員とその家族並びにサービス利用者様の安心・安全なサービス提供体制に努めた。

④ 熱中症避難所の開設

令和4年度は、「名川老人福祉センター」及び「剣吉デイサービスセンター」において、熱中症避難所を8日間開設した。